

1 研究主題

研究主題

「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」

2 研究推進の概要

- (1) 研究主題は第73回全日本中学校長会研究協議会北海道（札幌）大会の「研究協議会主題」と重ね設定することとした。
- (2) 今年度は各部ごとの研究ではなく、全日中研北海道（札幌）大会での分科会に所属し、第1～第8分科会の「研究題」に沿って研究・協議を行った。
- (3) 全日中研北海道（札幌）大会では、全校長が大会運営委員会に所属し、全日中事務局や全国各地の校長らとともに研究及び準備活動を行い、互いの情報交流や各地の研究について理解を深め、新たな認識をもつ機会となった。
- (4) オンラインによる研究協議会が10月19日～21日に開催され、文科省説明、全体協議会、分科会、記念講演等を通し、貴重な情報提供をいただくなどして研究を推進することができた。
- (5) 「中学校」832号において、研究全般の詳細なまとめが特集の形で発行された。

3 研究の成果と課題

- これまで本市では、中学校教育の充実と発展を柱に、研究基本主題を設定し共同研究を行ってきた。前年度までの研究の成果と課題を踏まえつつ研究主題の下、大会運営委員会各部の協力で研究の充実を図ることができた。
- 全日中研北海道（札幌）大会では、文科省大臣官房審議官の安彦広斉様より最新の初等中等教育をめぐる諸課題や施策の解説をお聞きした。全体協議会では、全日中教育研究部より「近年の調査研究報告書から読み取れる教育課題とその解決に向けて」と題した提案と、石川県から「伝統文化教育を活かした人材育成～歌舞伎『勸進帳』上演を通して～」の二本の提案が行われた。文科省説明からは、「令和の日本型学校教育」についての理解が深まり、全体協議会からはカリキュラムマネジメントや人材育成など喫緊の課題について研究成果を共有することができた。
- 8つの分科会からは、それぞれ二つの提案がなされ、全国各地の特色ある研究に触れることができた。分科会ごとに協議の柱が設定されており、ブレイクアウトルームを活用して少人数での研究協議が行われた。いずれの分科会も熱心に協議され参加者から好評を得た。
- 記念講演は、信州大学特任教授でテレビコメンテーターとしても御活躍の山口真由氏を講師に迎え、多様性が求められる現代社会や教育との関連の中で必要とされる「ポリティカル・コレクティブネス」について、分かりやすく興味深いお話をいただいた。
- 今年度は全日中研北海道（札幌）大会の開催に合わせ本市研究を実施する形となり、幅広く見識を深めることができたいへん有意義な取組となった。またアトラクションに出演いただいたアイヌ・アート・プロジェクトの皆様から、北海道の文化やアイヌの方々のメッセージを全国の参加者に届けることができ、まさにダイバーシティとしての研究協議会となった。この成果をどのように今後の学校経営に生かすか、課題はそこにあると捉えている。

1 研究主題

研究基本主題 「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育」

1年次（令和5年度）

新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の在り方

2年次（令和6年度）

新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の充実

3年次（令和7年度）

新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の深化

2 研究主題設定の趣旨

「新たな価値」とは、わが国そして「ふるさと札幌」の伝統や文化、郷土への愛着などに立脚した知識や経験に基づきながら、多様性を原動力とし、あらゆる他者を尊重し協働することを通して、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長や豊かな人生を築く礎となるものである。

また、「持続可能な社会」を実現させるためには、今を生きる子ども一人一人が創り手としての自覚をもって、よりよい社会の形成を担うことが必要不可欠である。札幌市中学校長会として、各部において研究推進することに価値があると考え、以上の研究主題を設定し令和5年度から3か年の継続研究に取り組むこととした。

3 研究内容

- ・第1課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む教育課程（研究部）
- ・第2課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む学校経営（管理部）
- ・第3課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む生徒指導（指導部）
- ・第4課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む健康・安全・人権教育（保健体育部）
- ・第5課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育むキャリア教育（進路指導部）
- ・第6課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む学校施設・設備（施設部）
- ・第7課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む特別支援教育（特別支援教育部）

研究基本主題、および「第1～第7課題」を共同研究の視点として認識し、各部が専門的分野において、1課題ずつ担当して、研究を推進するものとする。

4 研究推進計画

- (1) 時代に流されずに、教育の在り方を探るという「通底した柱」のもと、効果的な研究を推進するため、令和5年度から令和7年度までの3か年継続研究とする。
- (2) 研究の趣旨を基に作成された「研究の手引き」に沿って、各部では課題設定の趣旨、研究の視点、3か年継続研究の研究を更に具体化し、計画的に研究を推進する。
- (3) 各部の正・副部長と研究部で構成し研究内容を交流する「正・副部長会」、各部の研究担当者と研究部で構成し研究推進の具体化と連携を図る「研究担当者会」を設置し、研究内容の質的な向上を図る。
- (4) 本年度は全体研修会を11月22日に開催し、研究成果の発表交流を行うとともに、札幌市教育委員会から学校教育部長を招いて各研究について講評をいただく予定である。
- (5) 3か年継続研究の最終年に研究成果をまとめ、「研究紀要」として発行する予定である。

5 研究組織

上記、「3 研究内容」のとおり、研究部、管理部、指導部、保健体育部、進路指導部、施設部、特別支援教育部の校長会専門部7部がそれぞれの担当分野の視点に立った研究課題を掲げ、その解決を通して研究基本主題の達成に迫るという方法をとっている。

6 その他 特になし